

JAPAN FIRE EQUIPMENT INSPECTION INSTITUTE

# 検定協会だより

令和8年5月 第545号



M A Y





令和8年5月号

<https://www.jfeii.or.jp>

## 目次

### 巻頭のことば

- 1 セーフシティの実現に向けて  
東京消防庁 消防総監 市川 博三

### 協会情報

- 4 消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧  
消火・消防設備部 消防設備課
- 7 放水型ヘッド等スプリンクラー設備の評価結果概要について  
虎ノ門事務所
- 9 令和7年度の消費者相談件数等と主な相談内容及び回答について  
企画研究部 消費者相談室
- 14 「令和8年度一般公開」を終えて  
企画研究部 情報管理課
- 17 日本消防検定協会（旧）中央試験場  
解体工事完了のお知らせ  
総務部 監理課

- 18 協会通信・業界の動き
- 22 新たに取得された型式一覧
- 24 検定・性能評価・受託評価数量（令和8年4月）

## 巻頭のことは

# セーフシティの実現に向けて

東京消防庁 消防総監  
市川博三



日頃より、日本消防検定協会におかれましては、消防用設備等の検定・鑑定業務を通じ、国民生活の安心安全の確保にご貢献されておりますこと、また消防行政の推進に多大なるご尽力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、二月には岩手県大船渡市で、平成以降最大の焼損面積を記録した林野火災が発生しました。あらためて被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。当庁からは延べ394名の隊員が緊急消防援助隊として派遣され、非常に厳しい現場環境の中、懸命な消火活動にあたりました。

林野火災は、ひとたび発生すると、被害の及ぶ範囲が広く、対応期間の長期化も懸念されることから、当庁では本年1月から林野火災警報の運用を開始するとともに、4月には火災予防条例を改正し、林野火災注意報の運用を開始し、関係自治体と連携しながら地域住民や事業所等へ制度を周知することで林野火災の未然防止を図っております。

令和7年の当庁管内における災害状況ですが、火災の発生件数は5,269件となり、火災による死傷者数も前年より増加しております。このことから、あらゆる災害に対応できる車両・資器材等の充実や、消防部隊の育成・強化はもちろんのこと、都民に対して、SNS等の様々な広報媒体により、身近に起こりうる電気火災への注意喚起と、各家庭へのマイ消火器の普及を推進しております。

救急の状況については、昨年は記録的な猛暑となりましたが、救急出場ひっ迫期における救急需要対策に全庁を挙げて取り組んだ結果、熱中症による救急件数が過去最多と

検定協会だより 令和8年5月

---

なる中で、現場到着までの時間は、一昨年同時期と比べ短縮することができました。

また、出場件数は過去最多となった一昨年に迫る931,817件となり、これに対し、救急隊の増強や#7119救急相談センターの体制強化、適時・適切な救急車の利用を呼びかける広報等を実施し、一定の効果を挙げているところです。

救急需要については、今後も増大が予想されるため、真に必要とする方に、救急車が1秒でも早く向かうことができるよう、救急活動体制及び救急相談体制の更なる充実・強化、新技術の導入、救急車の適時・適切な利用を促す戦略的な広報展開など、各種取り組みをより一層深化させてまいります。

さて、本年は東日本大震災から15年、熊本地震から10年という節目の年となります。今後、発生が危惧される首都直下地震に備え、その被害を最小限に抑えるためには、地域防災力の向上が不可欠であることから、初期消火や応急救護、家具類の転倒防止といった防災行動力を身につけることのできる防火防災訓練を強力に推進してまいります。

あわせて、町会・自治会や事業所、区市町村、学校、関係機関の皆様と、81の消防署が相互に連携し、各地域の実情に合わせた自助・共助・公助の体制づくりにも尽力してまいります。

さらに本年は、44名もの尊い命が失われた新宿歌舞伎町の雑居ビル火災から25年となる節目の年でもあります。様々な消防法令の改正の契機ともなったこの火災から、当庁では防火安全向上のため、建物における消防用設備等の適正設置及び維持管理の推進、防火管理者の選任や自衛消防訓練の実施促進、立入検査による法令違反の是正など火災予防の各種取り組みを積み重ねてまいりました。

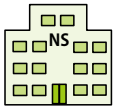
一方で、昨今の社会情勢は、かつてないスピードで変化しています。東京という大都市を見渡せば、建築物の高層化、大規模化、複雑化により都市構造は多様化の一途を辿っており、消防を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。引き続き消防行政への都民のニーズに応じていくためには、消防力を維持、向上させる新技術の積極的な導入・開発が欠かせないことから、消防にイノベーションを起こすべく、産官学連携による新たな消防技術の研究、開発を推進する消防技術研究開発センターを本年4月から新たに設置し、当庁の未来に向けた施策を展開してまいります。

我々、消防の使命は、都民の生命・身体・財産を守ることです。誰もが安全で安心し

---

て暮らせるセーフシティの実現に向けて、日本消防検定協会をはじめとする、関係団体の皆様と連携するとともに、職員と組織が、基本に忠実かつ状況の変化に柔軟に対応できるレジリエンスを備え、災害対応力を向上させられるよう、全職員が一丸となって、丁寧にかつ着実に取り組んでまいります。

引き続き、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧

## 消火・消防設備部消防設備課

下記一覧表は当協会が試験を行い、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に適合するものと判断した消防ポンプ自動車に用

いる機関、車台及び駆動装置を各会社別にまとめたものです。（令和8年4月1日現在）

消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧表

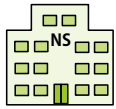
2026/4/1

社名	機 関			車 台				車 両 総重量 (t)	駆 動 装 置 型 式 (ギヤ比)	備 考 (適用補助型式等)
	型 式	最高回転等 (kW(PS)/rpm)	総 排気量 (cc)	車名型式	車台型式	ボイル スペース (m)	最 大 積 載 量 (t)			
日 野 自 動 車 株	N 0 4 C	98(133)/3,000 110(150)/2,380	4,009	2RG-XZU600E	XZU600	2.525	3.00	7.30	HWOM35A (1.106)	電気式ガバナ (CD-I)
				2PG-XZU600E	XZU600					
				2RG-XZU640M	XZU640	2.825				
				2PG-XZU640M	XZU640					
				2KG-XZU685M◎	XZU685	2.800				
				2KG-XZU600E	XZU600	2.525				
				2DG-XZU600E	XZU600	2.825				
				2KG-XZU640M	XZU640					
				2DG-XZU640M	XZU640					
				2DG-XZU685M◎	XZU685	2.800				
				2WG-XZU603E	XZU603	2.525				
				2WG-XZU643N	XZU643	2.825				
				2WG-XZU686N◎	XZU686	2.800				
				日 野 自 動 車 株	A 0 5 C	173(235)/2350 177(241)/2300	5,123			
2KG-FD2ABA		3.79	3.80							
2DG-FD2ABA		3.79	3.40					8.00		
2KG-FX2ABA◎	FX2AB									
2PG-GD2ABA	GD2AB	3.79	6.30					10.99		
2KG-GD2ABA		3.79	6.00					11.30		
2DG-GD2ABA										
2PG-GX2ABA◎	GX2AB	4.00	6.10					11.90		
2KG-GX2ABA◎										
2PG-FE2ABA	FE2AB	3.79	7.50					14.50		
2KG-FE2ABA		4.58	7.80							
2DG-FE2ABA										
2PG-FE2ACA	FE2AC	4.58	7.80							
2KG-FE2ACA										
2DG-FE2ACA										
日 野 自 動 車 株	A 0 9 C	230(313)/2,200 235(320)/1700	8,866	2PG-FH1AGA	FH1AG	4.8	8.80	18.00	SP64AG (1.650) AC858W (1.672) AC870W (1.420)(1.610)	電気式ガバナ (水槽車II、化学車 II~V、大I、はし ご車、屈折はしご車、 大型高所放水車等)
				271(368)/2,200 279(380)/1,800	2KG-FH1AGA	FH1AG	4.8			
				2DG-FR1AJA	FR1AJ	5.7	13.40	22.00		
				2DG-FQ1AJG	FQ1AJ	5.725	13.90			
				2DG-FW1AJG	FW1AJ	6.325	13.00			
				2PG-FQ1AJG	FQ1AJ	5.725	13.90			
				2PG-FW1AJG	FW1AJ	6.325	13.00			

				2PG-FW1AHG	FW1AH	7.075	15.90	25.00				
				2DG-FW1AHG	FW1AH	7.075	15.80					
				2DG-PR1APJF ※	PR1APJ	5.51	—	21.55	ZF110R (0.97)			
				2KG-FH1AGE	FH1AG	4.8	8.80	18.00	SP64AG			
				2DG-FR1AJE	FR1AJ	5.7	13.40	22.00	(1.650)			
				2DG-FQ1AJC	FQ1AJ	5.725	13.90		AC858W			
				2DG-FW1AJC	FW1AJ	6.325	13.00		(1.672)			
				2DG-FW1AHC	FW1AH	7.075	15.80	25.00	AC870W			
									(1.420) (1.610)			
いすゞ自動車株式会社	4 H K 1 F	93(127)/2,700 154(210)/2,400	5,193	2RG-FRR90S4	FRR90	3.26	3.80	8.00	PFC (1.235)	電気式がバナ (CD-II、水槽車、化学車 I ~IV等)		
						3.79	3.70					
				2PG-FRR90S4	FRR90	3.26	3.80	8.00				
						3.79	3.70					
				2RG-FSR90S4	FSR90	3.26	6.40	10.99				
						3.79						
				2PG-FSR90S4	FSR90	3.26	6.40	10.99				
						3.79						
				2RG-FRS90J4◎	FRS90	3.79	3.15	8.00				
						3.79						
	2PG-FRS90J4◎	FRS90	3.79									
	2RG-FSS90J4◎	FSS90	3.79	5.80	10.99							
				6.40		11.95						
	2PG-FSS90J4◎	FSS90	3.79	5.80	10.99							
				6.40		11.95						
	93(127)/2,700 154(210)/2,000				2WG-FRR90S4	FRR90	3.26	3.70	8.00			
							3.79					
					2WG-FSR90S4	FSR90	3.26	6.40	10.99			
							3.79					
2WG-FRS90J4◎	FRS90	3.79	3.20	8.00								
2WG-FSS90J4◎	FSS90	3.79	5.90	10.99								
			6.40		11.95							
93(127)/2,700 177(240)/2,400				2PG-FVR90U2	FVR90	4.10	7.90	16.00				
						9.00						
						8.10						
				2RG-FTS90S2◎	FTS90	4.25	7.60	14.70				
				2PG-FTS90S2◎								
4 J Z 1 F	103(140)/3,200 110(150)/2,800		2,999	2RG-NLR88N	NLR88	2.75	1.75	4.99	PFA (1.113)	電気式がバナ		
						2RG-NLR88M	NMR88				2.75	3.00
				2RG-NMR88N	NMR88	2.75		3.00			7.49	
				2RG-NMR88M		NLS88	2.76	1.65			4.99	
				2RG-NLS88AN◎	NMS88		2.76	2.00			6.50	
	2PG-NMS88AN◎		7.00									
	93(127)/3,200 110(150)/2,450				2WG-NLR88M	NLR88	2.75	1.75	4.99			
							2WG-NMR88M	NMR88			2.75	3.00
					2WG-NLS88AM◎	NLS88	2.76		1.65		4.99	
					2WG-NMS88AM		NMS88	2.76	2.00		6.50	
						7.00						
トヨタ自動車株式会社	N O 4 C	98(133)/3,000 110(150)/2,380	4,009	2RG-XZU600H	XZU600	2.525	3.00	7.30	HWOM35A (1.106)	電気式がバナ (CD-I)		
						2PG-XZU600H	XZU600					
				2RG-XZU640	XZU640	2.825						
				2PG-XZU640		XZU640						
				2KG-XZU685◎	XZU685		2.800					
				2KG-XZU600H		XZU600	2.525					
				2DG-XZU600H	XZU600							
				2KG-XZU640		XZU640	2.825					
				2DG-XZU640	XZU640							
				2DG-XZU685◎		XZU685	2.800					
2WG-XZU603H	XZU603	2.525		7.27								
2WG-XZU643B		XZU643	2.825									
2WG-XZU686B◎	XZU686		2.800									
4 H K 1 F		93(127)/2,700 154(210)/2,400	5,193	2RG-BRR90S4	BRR90	3.26	3.80	8.00	PFC (1.235)	電気式がバナ (CD-II、水槽車、化学車 I ~IV等)		
	3.79					3.70						
	2PG-BRR90S4					BRR90	3.26				3.80	8.00
							3.79				3.70	
	2RG-BSR90S4					BSR90	3.26				6.40	10.99
							3.79					
	2PG-BSR90S4					BSR90	3.26				6.40	10.99
							3.79					
	2RG-BRS90J4◎					BRS90	3.79				3.15	8.00
							3.79				3.15	

U D ト ラ ッ ク ス (株)	93(127)/2,700 154(210)/2,000		2RG-BSS90J4◎	BSS90	3.79	5.80	10.99		
						6.40	11.95		
			2PG-BSS90J4◎	BSS90	3.79	5.80	10.99		
						6.40	11.95		
			2WG-BRR90S4	BRR90	3.26	3.70	8.00		
					3.79				
			2WG-BSR90S4	BSR90	3.26	6.40	10.99		
					3.79				
			2WG-BRS90J4	BRS90	3.79	3.20	8.00		
			2WG-BSS90J4	BSS90	3.79	5.90	10.99		
				6.40	11.95				
	93(127)/2,700 177(240)/2,400		2PG-BVR90U2	BVR90	4.10	7.90	16.00		
						9.00			
						8.10			
			2RG-BTS90S2◎	BTS90	4.25	7.60	14.70		
2PG-BTS90S2◎									
4 J Z 1 F	103(140)/3,200 110(150)/2,800 93(127)/3,200 110(150)/2,450	2,999	2RG-BLR88M	BLR88	2.75	1.75	4.99	PFA (1.113) PFA-1 (1.023) (0.977) PFE (1.105)	電気式がバナ
			2RG-BMR88M	BMR88	2.75	3.00	7.49		
			2WG-BLR88M	BLR88	2.75	1.75	4.99		
			2WG-BMR88M	BMR88	2.75	3.00	7.49		
			2WG-BLS88AM	BLS88	2.76	1.65	4.99		
			2WG-BMS88AM	BMS88	2.76	2.00	6.50		
							7.00		

注：車名型式中「※」は全輪操舵、「◎」は全輪駆動であることを示す。



# 放水型ヘッド等スプリンクラー設備の 評価結果概要について

虎ノ門事務所

## 1 放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の総合評価結果

令和7年4月から令和8年3月までに、放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備として評価を受けたものは次のとおりでした。

評価番号		主要構成装置等		依頼者	承認年月日
1号評価	S041	可動式ヘッド（小型ヘッド）	総合変更評価	能美防災株式会社	R8.3.31

※全国の消防本部および都道府県の皆さまにおかれましては、評価書に関してご不明点等がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

## 2 放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の型式評価結果

令和7年4月から令和8年3月までに、型式評価を行った製品はありませんでした。

## 3 型式適合評価依頼件数及び型式適合評価依頼個数

令和7年4月から令和8年3月までの放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の型式適合評価依頼件数及び型式適合評価依頼個数は次のとおりでした。

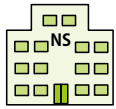
### (1) 型式適合評価依頼件数

型式適合評価依頼件数	101
------------	-----

(2) 型式適合評価依頼個数

主要構成装置		月別					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
放水部	固定式ヘッド	0	65	190	156	66	210
	可動式ヘッド	8	1	0	2	3	0
感知部		14	1	4	2	6	0
制御部	制御盤	6	8	8	8	8	5
	その他	107	212	6	119	133	71
手動操作部		20	20	42	9	7	4
受信部		0	0	0	0	0	0

主要構成装置		月別						合計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
放水部	固定式ヘッド	393	242	65	265	146	0	1,798
	可動式ヘッド	0	6	4	0	0	8	32
感知部		0	10	2	0	0	12	51
制御部	制御盤	4	4	5	10	7	2	75
	その他	3	44	38	192	123	116	1,164
手動操作部		5	23	11	23	12	13	189
受信部		0	0	0	1	0	0	1



# 令和7年度の消費者相談件数等と主な相談内容及び回答について

## 企画研究部 消費者相談室

当協会では、消費者からの相談や問い合わせに応じるために消費者相談室を設けています。

令和7年度に消費者相談室に寄せられた相談や問い合わせについて、まとめると次のようになります。

### 1 相談などの件数

令和7年度の相談などの総件数は、283件でした。

品目別の件数、構成比をそれぞれ下表及び下図に示します。

表 令和7年度の消費者相談品目別件数及びその構成比

品目	件数 [件]	構成比 [%]
消火設備関係 (消火器を除く)	8	3
警報設備関係	6	2
避難設備関係	1	0
消火器	35	12
住宅用防災警報器	39	14
エアゾール式簡易消火具	174	62
その他	20	7
合計	283	100

注1：「その他」は、品目以外に関する相談などです。

注2：構成比は、小数点以下については端数処理をしている。

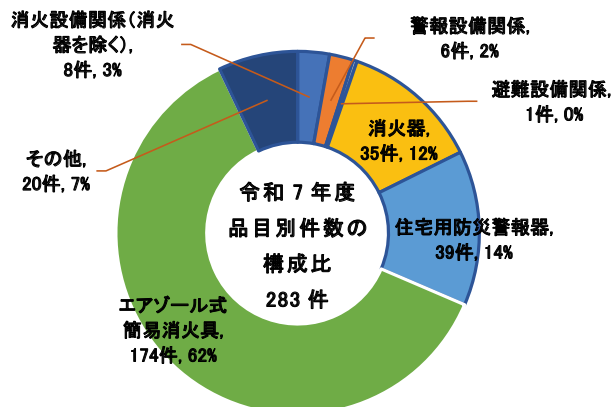


図 令和7年度の消費者相談に係る品目別件数

## 2 主な相談の内容

相談が多かった主な品目は、エアゾール式簡易消火具、住宅用防災警報器（通称：住宅用火災警報器）、消火器です。また、その内容として、消火器及びエアゾール式簡易消火具においては廃棄方法について、住宅用防災警報器においては警報に関するものが多くありました。

そこで、これらの相談に対する具体的な回答を質疑応答として、また、参考に外観の一例を次に示します。

### (1) 消火器関係

Q： 廃棄するにはどのようにすれば良いですか？

A： 現在消火器には、大きく「業務用消火器」と「住宅用消火器」があります。消火器は、「処理困難物」扱いとなり、一般ゴミとして引き取ってもらえません。株式会社消火器リサイクル推進センター、製造者又は販売店にご連絡ください。

なお、外国製消火器や、消火器リサイクル推進センターが取り扱わないとした古い消火器等の場合の廃棄については、一般家庭の方は製造者又はお住まいの都道府県、市町村の環境・清掃部局に、事業者の方は産業廃棄物事業者にご確認ください。

株式会社 消火器リサイクル推進センター

〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-7 蔵前酒井ビル 2階

TEL：03-5829-6773 ホームページ：<https://www.ferpc.jp>

消火器リサイクル推進センターでは廃棄の方法をいくつか定めています。

- ① 特定窓口（全国に約5,000カ所）に引き取りを依頼する。
- ② 指定引取場所（全国に約200カ所）に直接持ち込む。
- ③ ゆうパック（ゆうパック専用コールセンター：0120-822-306）で回収を依頼する。

いずれの場合にも、費用（リサイクルシール代や運搬費）がかかることがあります。詳しくは、消火器リサイクル推進センターのホームページをご覧ください。

### (2) 住宅用防災警報器（通称：住宅用火災警報器）関係

Q： 警報が鳴っています。どうすれば良いですか？

A： 警報の音や音声内容に応じて、以下の表を参考に対応してください。

音や音声内容	警報の種類	対応
「ピーピーピー」と鳴動する。 又は 「火事です」と鳴動する。	火災警報音	<p><u>実際に火災が発生していないか安全を確認してください。</u></p> <p>【火災が発生している場合】 避難してから119番に通報するなど適切な処置をしてください。</p> <p>【火災が発生していない場合】 タバコや魚を焼いているときの煙、調理や風呂の湯気、ホコリなどを感知している可能性があります。原因を除去してください。</p>
「ピッ」と一定の間隔で鳴動する。 又は 「電池切れです」と鳴動する。	電池切れ警報音	<p>電池切れですので電池を交換してください。</p> <p>また、<u>設置から10年以上経過している場合は、内部の電子機器の劣化が進んでいるおそれがあるため、住宅用防災警報器本体の交換をお奨めします。</u></p>
「ピッ、ピッ、ピッ」と一定の間隔で鳴動する。 又は 「故障です」と鳴動する。	故障警報音	<p>故障ですので住宅用防災警報器を取り替えてください。</p>

警報を停止させるには、警報停止ボタンを押すか、ひもを引っ張ってください。ただし、住宅用防災警報器内に残った煙、ホコリなどにより火災警報音が鳴動している場合は、一定時間（5～15分）後に再度警報を発することがあります。また、ガス漏れを警報する機能を持った住宅用防災警報器もありますので、警報される音や詳しい取扱い方法については、取扱説明書をお読みいただくか製造者又は販売店にお問い合わせください。

Q： 住警器を取り外すにはどうすれば良いですか？

A： 一般的に住宅用防災警報器は、機器を設置側（天井や壁）に少し押し込みながら反時計回りにひねると外すことができます。取扱説明書をご確認ください。

### (3) エアゾール式簡易消火具関係

Q： 廃棄するにはどのようにすれば良いですか？

A： 外観に腐食などの異常がないか十分安全を確認して、殺虫剤や化粧品のスプレー缶と同様に、屋外等安全な場所で、内部の消火薬剤及びガスを完全に抜いてください。

**【一般的な廃棄方法：消火薬剤が液体の場合】**

- ・屋外の周りに人がいない安全な場所で、大きめのビニール袋の中に新聞紙などを数枚丸めて入れ、入れた新聞紙などに消火薬剤を吸い取らせるようにして、消火薬剤及びガスの全量を放射してください。
- ・万一、肌に付いた場合には、水で洗い流してください。
- ・目に入った場合は、水で洗い流して専門医の診察を受けてください。
- ・消火薬剤を吸い取らせた新聞紙などは可燃ゴミとして、また、容器は殺虫剤や化粧品のスプレー缶と同様に、お住まいの市町村のゴミ分別に従って処分してください。

なお、消火薬剤がハロンの場合の廃棄は、製造者又はお住まいの都道府県又は市町村の環境・清掃部局にご確認ください。

〈参考〉 外観の一例

住宅用消火器	住宅用火災警報器	エアゾール式簡易消火具
	 天井設置タイプ      壁設置タイプ	

### 3 相談などの問い合わせ先

日本消防検定協会 (<https://www.jfeii.or.jp>)

受付時間 10:00～12:00、13:00～16:00（土日祝日を除く）

- ・ 本所 消費者相談室（企画研究部内）

〒182-0012 東京都調布市深大寺東町4-35-16

TEL：0422-44-8451 FAX：0422-47-3991

- 
- ・ 大阪支所 消費者相談室  
〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎2-12-7 清和梅田ビル4階  
TEL：06-6363-7472 FAX：06-6363-7475
  - ・ 虎ノ門事務所 消費者相談室  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館11階  
TEL：03-5962-8904 FAX：03-5962-8905
  - ・ 消防用設備等に関するお問い合わせは、ホームページからのお問い合わせ  
フォームで受け付けています。  
<https://www.jfeii.or.jp/contact/>



# 「令和8年度一般公開」を終えて

企画研究部 情報管理課

日本消防検定協会、消防研究センター、消防大学校及び一般財団法人消防防災科学センターでは、例年、発明の日（4月18日）を含む科学技術週間にあたり、科学技術について広く一般の方々に理解と関心を深めていただくことを目的として、4月第3週の金曜日に「一般公開」を開催しています。今年は、下記のとおり実開催と共に動画公開（消防研究センターホームページによる）を実施しました。

当協会におきましては、新中央試験場の竣工に伴い役目を終えた旧中央試験場の解体取壊し作業が終わり、現在ではその跡地はアスファルト舗装した駐車場となり一般公開を迎えることとなりました。

花曇りの季節、当日は少し肌寒い朝を迎えましたが、開場時間の頃には気温も上がり過ごしやすくなり一般の方から消防関係者の方まで多くの方のご来場をいただき盛大に執り行うことができ、総来場者数としては589名の方に足を運んでいただきました。

当協会の公開項目といたしまして、昨年度までに公開した内容を全て実施する中で、唯一実施場所がかけ離れていた「屋内消火栓の操作説明及び操作体験」については、他の公開場所に近づけた屋外エリアで実施したところ、多くの来場者が足を止めて体験されていました。

来年度におきましては、更にたくさんの皆様のご来場をお待ちしたいと思うところで

最後になりますが、ご来場いただきました皆様と一般公開開催に向けてご協力をいただきました皆様に対し御礼を申し上げます。有難うございました。

## 記

### 1 実開催

日 時

令和8年4月17日（金）10時00分から16時00分まで

### 2 動画公開

（1）日 時

令和8年4月10日（金）10時00分から

令和8年4月20日（月）16時00分まで

(2) 掲載アドレス

消防研究センターホームページ (<https://nrifd.fdma.go.jp>)

(3) 当協会の公開内容

日本消防検定協会の紹介、業務内容、消防機器の型式情報等を映像により紹介しました。

【公開内容（日本消防検定協会）】

項 目	概 要	場 所・時 間
住宅用消火器による消火実演	住宅用消火器による天ぷら油火災の消火実演を行いました。	消火散水試験場 着火時間：①11:30 ②14:30
消火器の操作体験及び展示	訓練用消火器を用いて目標物に放射する消火体験を行いました。	消火散水試験場 操作体験・消火体験：随時 (12:00～13:00は除く)
住宅用防災警報器の展示及び実演	住宅用防災警報器を紹介しました。また、無線式の住宅用防災警報器が連動する様子を紹介しました。	情報館1階 実演：随時
各種消防用機械器具等の展示	消火器、スプリンクラーヘッド、火災報知設備、消防用ホースなど、各種消防用機械器具等を紹介しました。	情報館1・2階展示室 随時
屋内消火栓の操作説明及び操作体験	屋内消火栓の構造説明と操作実演を行いました。また、屋内消火栓を用いて、目標物に放水する消火操作体験を行いました。 【協力：(一社)日本消防放水器具工業会】	スプリンクラー消火試験場 前屋外 実演：随時
ビデオ放映	日本消防検定協会及び消防機器の検定制度についてのビデオを放映しました。	情報館3階会議室
休憩所	コーヒー、お茶をセルフサービスで用意し、スタンプラリーの記念品を配布しました。	情報館3階会議室



天ぷら油火災消火実演 概要説明



天ぷら油火災消火実演  
(3m程度離れたところから消火器を噴射)

検定協会だより 令和8年5月



消火器の操作体験



住宅用防災警報器の連動実演  
(火災を検知すると家中の警報器が一斉作動)



消防用機械器具等の展示説明



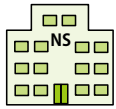
屋内消火栓の消火体験



ビデオ放映 (休憩所)



スタンプラリー記念品配布



# 日本消防検定協会（旧）中央試験場 解体工事完了のお知らせ

総務部 監理課

この度、2025年8月28日より着工しておりました（旧）中央試験場の解体工事におきましては、4月13日で無事に完了いたしましたのでご報告申し上げます。関係者の皆様、および近隣住民の皆様には、工事期間中ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

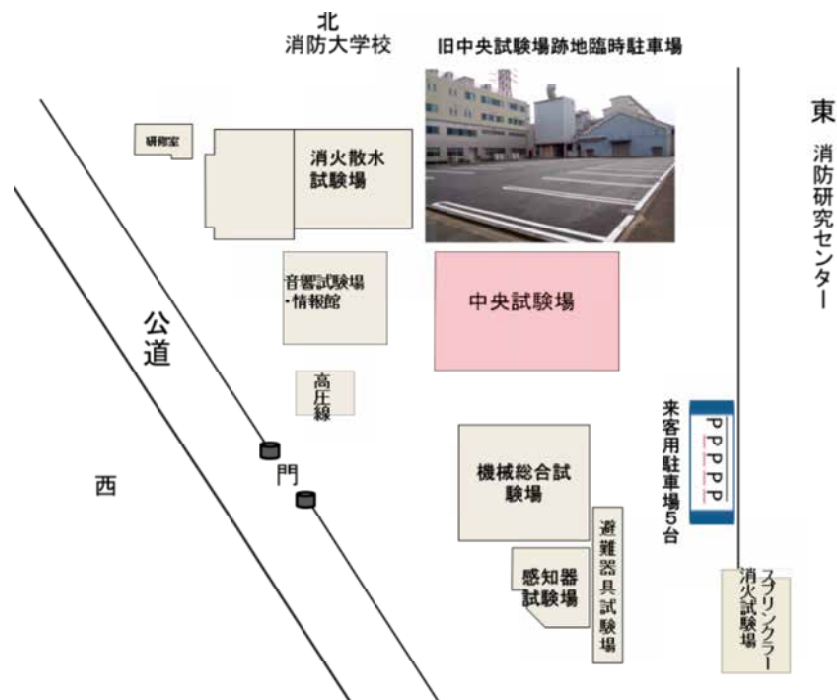
なお、跡地については、次の試験場建設まで、臨時駐車場として活用します。



（旧中央試験場解体前）



（解体工事）



【位置図】

■■業界の動き■■

—会議等開催状況—

◆（一社）日本火災報知機工業会◆

○業務委員会（令和8年4月9日）

- ・届出の対応について
- ・令和8年度社会貢献事業への協力について
- ・地域社会貢献について
- ・火災通報装置におけるワイヤレス固定電話の影響及びNTT加入電話の先行実施エリア等について
- ・消防機器業におけるイスラエルとアメリカによるイラン攻撃の影響について
- ・住宅用火災警報器・感震ブレーカー設置・維持管理対策会議の結果について
- ・HPリニューアルに関する進捗状況について

○メンテナンス委員会

（令和8年4月21日）

- ・点検実務検討小委員会報告  
パンフレットの改訂について
- ・維持運用管理手法小委員会報告  
点検実務マニュアル等の改訂について
- ・その他（情報提供）  
令和8年度消防庁広報施策テーマについて  
リチウムイオン電池等から出火した火災の調査結果の公表  
消防法令等に基づく事務手続におけ

る旧氏の取扱いについて

消防法施行規則第4条の2の6第1項で定める点検基準に係る点検要領等についての一部改正について

関係者不在施設における防火安全対策ガイドライン

民泊消防関係Q&A 他

○技術委員会（令和8年4月16日）

- ・火報試験基準検討小委員会報告  
軽微変更事例集について
- ・感知器の環境特性調査小委員会報告  
第46回（防水）感知器の環境特性調査小委員会報告・あり方検討小委員会報告
- ・その他（情報提供）  
「消防技術戦略ビジョン」の公表  
消防研究センター、検定協会等の一般公開について  
外部試験器の品質評価細則の一部を改正する規程の送付について 他

○設備委員会（令和8年4月23日）

- ・設備性能基準化小委員会報告  
一般電話回線のIP化に伴う火災通報装置の各社施工等課題確認について  
東消の予防事務審査・検査基準改定案に関する今後の対応について  
炎感知器の設置基準、高天井感知器に関する消防庁への対応について  
JISシンボル化における対応につい

## 協会通信

て

- ・工事基準書改訂小委員会報告  
工事基準書ハンドブックの改訂について
- ・その他（情報提供）  
「令和7年度 予防行政のあり方に関する検討会」の検討結果  
工事中の防火対象物における火災予防上の留意事項について  
第27期火災予防審議会人命対策安全部会 第4部会 開催結果  
大規模延焼火災における消防活動の効果と今後の対策について 他

### ○システム企画委員会

（令和8年4月24日）

- ・火報企画検討小委員会報告  
火災通報装置に係る協力要請について
- ・その他（情報提供）  
防災センターに関する技術上の基準の改正について  
火災通報装置の蓄積音声情報による通報内容の変更について  
これからの時代を見据えた防災センター等の基準改正について

### ○広報委員会 （令和8年4月22日）

- ・広報委員会の重点実施項目について
- ・工業会広報小委員会活動状況について
- ・住警器交換推進小委員会活動状況につ

いて

- ・住宅用火災警報器検定申請数について
- ・お客様電話相談室受付結果について
- ・70周年記念動画について
- ・全国消防長会予防委員会情報提供について
- ・「大分市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書」の公表について
- ・その他  
本年度広報グッズ無償提供事業の開始について  
X掲載報告等について  
CATV事業について

※4月より「住宅防火推進委員会」の体制を変更して「広報委員会」とし、火災報知設備の幅広い広報活動を行っていく予定です。

## ◆（一社）日本消火器工業会◆

### ○第1回 企業委員会

（令和8年4月9日）

- ・検定等申請・回収状況
- ・機器協会事務局長会議報告
- ・消火器リサイクル推進センターからの報告  
推薦窓口の会社情報確認依頼に関して  
2025年度帳簿統括表報告のお願い  
中間処理施設監査結果通知送付について

## 協会通信

検定協会だより 令和8年5月

## 協会通信

・その他

消火器点検時の年に関する考え方について

### ◇第1回 技術委員会

(令和8年4月10日)

- ・リチウムイオン蓄電池火災用の消火器について
- ・労働安全衛生法について
- ・その他

### ◇第1回 理事・総務合同会議

(令和8年4月21日)

#### 定例報告

- ・令和7年度3月消火器申請・回収状況
- ・機器協会事務局長会議報告
- ・令和8年度定時総会、会長表彰式及び祝賀会・懇親会

#### 審議事項

- ・定時総会議案について

### ◆(一社)日本消火装置工業会◆

#### ○第464回「技術委員会」

(令和8年4月3日 日本消火装置工業会)

- ・第一部会、第二部会及び第三部会活動報告について
- ・建築設備計画基準・建築設備設計基準(令和6年版)改定意見について
- ・「消火設備の維持管理に関するご提案資料」の改訂について

・その他

#### ○第243回「第一部技術分科会」

(令和8年4月24日 日本消火装置工業会)

- ・ハウジング継手について
- ・合同委員会関係について
- ・その他

#### ○第241回「第二部技術分科会」

(令和8年4月16日 日本消火装置工業会)

- ・消防法施行規則改正リーフレットについて
- ・水質汚濁防止法につて
- ・その他

#### ○第222回「第三部技術分科会」

(令和8年4月21日 日本消火装置工業会)

- ・ガス消火設備の法令・基準等見直し検討について
- ・自主認定申請について(警報装置等標識板)
- ・その他

### ◆(一社)日本消防ポンプ協会◆

#### ○大型技術委員会

(令和8年4月17日 日本消防ポンプ協会会議室)

- ・2026年度委員体制について

## 協会通信

## 協会通信

- ・第104回全国消防長会技術委員会情報提供等について
- ・補助規格の見直しについて
- ・品質評価細則見直しについて
- ・その他

### ○総務委員会

(令和8年4月21日 日本消防ポンプ協会会議室)

- ・事務局長会議等報告について
- ・令和7年度事業報告書について
- ・令和7年度財務諸表について
- ・令和7年度型適取扱台数について
- ・その他

### ○小型技術委員会・検定協会合同会議

(令和8年4月23日 日本消防ポンプ協会会議室)

- ・品質評価細則見直しについて
- ・その他

協会通信

検定協会だより 令和8年5月

# 新たに取得された型式一覧

## 型式承認

種 別	型式番号	申請者	型 式	承認年月日
泡消火薬剤	泡第 2026～5号	モリタ宮田工業 株式会社	合成界面活性剤泡 3% (-10°C～+30°C)	R8.3.27
光電式スポット型 感知器 (試験機能付)	感第 2026～7号	日本ドライケミカル 株式会社	1種 (28V、5mA)・非蓄積型、非防水型、 普通型、再用型、散乱光式	R8.3.9
	感第 2026～8号	日本ドライケミカル 株式会社	2種 (28V、5mA)・非蓄積型、非防水型、 普通型、再用型、散乱光式	R8.3.9
	感第 2026～9号	日本ドライケミカル 株式会社	3種 (28V、5mA)・非蓄積型、非防水型、 普通型、再用型、散乱光式	R8.3.9
光電式スポット型 感知器 (2信号及び 試験機能付)	感第 2026～10号	日本ドライケミカル 株式会社	2種 (28V、5mA)・非蓄積型、3種 (28V、 5mA)・非蓄積型、非防水型、普通型、再 用型、散乱光式	R8.3.9
光電アナログ式 スポット型感知器 (試験機能付)	感第 2026～11号	日本ドライケミカル 株式会社	(28V、5mA)・公称感知濃度2.5%/m ～17%/m、非防水型、普通型、再用型、 散乱光式	R8.3.9
光電アナログ式 スポット型感知器 (熱対応式及び試験 機能付)	感第 2026～12号	日本ドライケミカル 株式会社	(28V、5mA)・公称感知濃度2.6%/m ～17%/m、非防水型、普通型、再用型、 散乱光式	R8.3.9
P型1級受信機 (蓄積式)	受第 2026～6号	ホーチキ株式会社	交流100V、外部配線抵抗50Ω、公称蓄積 時間50秒	R8.3.9
P型2級受信機 (蓄積式)	受第 2026～7号	ホーチキ株式会社	交流100V、外部配線抵抗50Ω、公称蓄積 時間50秒	R8.3.9

## 型式変更承認

種 別	型式番号	申請者	型 式	承認年月日
定温式スポット型 感知器 (試験機能付)	感第 2024～12～1号	パナソニック 株式会社	特種 (3V、300mA)・公称作動温度 65°C、非防水型、再用型、無線式 (発信用・ 受信用)、特定小規模施設用運動型警報機 能付、火災発生区域特定機能付、電池方式 (兼用非常電源)	R8.3.9
赤外線式スポット型 感知器 (試験機能付)	感第 2025～9～1号	ホーチキ株式会社	屋内型 (20V、12mA)・公称監視距離25 m～40m・視野角110度、非防水型、普 通型、再用型、CO <sub>2</sub> 共鳴放射式、ゆらぎ式	R8.3.27

## 品質評価 型式評価

種 別	型式番号	依 頼 者	型 式	承認年月日
エアゾール式 簡易消火具	A051613101A	株式会社ドウエル アソシエイツ	強化液 圧縮空気 545g (鉄製)	R8.1.22
特殊消防ポンプ自動車 又は特殊消防自動車に 係る特殊消火装置	L42A-XS-K-1	帝国繊維株式会社	はしご付消防ポンプ自動車	R8.3.31
	MC-2-36	株式会社モリタ	化学消防ポンプ自動車	R8.3.24
	OT-20-2	小川ポンプ工業 株式会社	水槽付消防ポンプ自動車	R8.3.27
	TECA-5・ TEH-22・ TEG-6-1	帝国繊維株式会社	消火薬剤タンク付き大型化学高所放水車	R8.3.27
	YSW-10-3	株式会社 ネイチャー	水槽付消防ポンプ自動車	R8.3.25
	YSW-15-6	株式会社 ネイチャー	水槽付消防ポンプ自動車	R8.3.25
消防用ホース	H0325FA07A	帝国繊維株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.6、呼称65 (シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント交織、円織)	R8.4.9

## 認定評価 型式評価

種 別	型式番号	依 頼 者	型 式	承認年月日
非常警報設備・増幅 器及び操作部	認評放第 2026~1号	株式会社JVCケン ウッド・公共産業 システム	AC100V、最大480W	R8.3.27
非常警報設備・遠隔 操作器	認評放第 2026~2号	株式会社JVCケン ウッド・公共産業 システム	DC24V	R8.3.27

## 認定評価 型式変更評価

種 別	型式番号	依 頼 者	型 式	承認年月日
非常警報設備・増幅 器及び操作部	認評放第 20~11~2号	日本電音株式会社	AC100V、最大360W	R8.3.30
非常警報設備・遠隔 操作器	認評放第 20~12~1号	日本電音株式会社	DC24V	R8.3.30

## 特定機器評価 型式評価

種 別	型式番号	依 頼 者	型 式	承認年月日
特定初期拡大抑制機 器	特評第288号	株式会社 ポネックス	TS-119	R8.3.23

# 検定対象機械器具等申請一覧表

種別	型式試験 申請件数	型式変更試験 申請件数	型式適合検定				
			申請件数	申請個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
消火器	大型	0	0	13	3,265	131.8	131.8
	小型	0	0	62	480,133	107.7	107.7
消火器用消火薬剤	大型用	0		1	1	2.0	2.0
	小型用			10	4,645	73.1	73.1
泡消火薬剤		0		26	92,500	57.8	57.8
感知器	差動式スポット型	0	0	30	287,619	67.0	67.0
	差動式分布型	0	0	9	5,990	88.1	88.1
	補償式スポット型	0	0	0	0	-	-
	定温式感知線型	0	0	0	0	-	-
	定温式スポット型	0	0	42	138,429	80.6	80.6
	熱アナログ式スポット型	0	0	15	6,690	55.6	55.6
	熱複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	イオン化式スポット型	0	0	0	0	-	-
	光電式スポット型	0	0	33	154,230	79.3	79.3
	光電アナログ式スポット型	1	1	13	46,332	80.6	80.6
	光電式分離型	0	0	4	262	58.2	58.2
	光電アナログ式分離型	0	0	1	3	2.4	2.4
	光電式分布型	0	0	0	0	-	-
	光電アナログ式分布型	0	0	0	0	-	-
	煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	熱煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	紫外線式スポット型	0	0	1	20	4.5	4.5
	赤外線式スポット型	0	0	2	102	8.0	8.0
紫外線赤外線併用式スポット型	0	0	1	277	皆増	皆増	
炎複合式スポット型等	0	0	0	0	-	-	
発信機	P型1級	0	0	8	19,860	85.6	85.6
	P型2級	0	0	9	5,998	93.3	93.3
	T型	0	0	0	0	-	-
	M型	0	0	0	0	-	-
中継器		0	0	86	38,716	80.0	80.0
受信機	P型1級	0	0	49	2,283	84.6	84.6
	P型2級	0	0	16	4,480	208.4	208.4
	P型3級	0	0	0	0	皆減	皆減
	M型	0	0	0	0	-	-
	R型	0	0	9	174	127.0	127.0
	G型	0	0	5	6	600.0	600.0
	GP型1級	0	0	8	10	71.4	71.4
	GP型2級	0	0	0	0	-	-
	GP型3級	0	0	8	44,699	117.3	117.3
GR型	0	0	20	282	135.6	135.6	
閉鎖型スプリンクラーヘッド		0	0	29	95,180	152.8	152.8
流水検知装置		0	0	47	2,331	111.7	111.7
一斉開放弁		0	0	36	4,754	158.2	158.2
金属製避難はしご	固定はしご	0	0	0	0	-	-
	立てかけはしご	0	0	0	0	-	-
	つり下げはしご	0	0	16	9,495	69.1	69.1
緩降機		0	0	2	384	71.1	71.1
住宅用防災警報器	定温式住宅用防災警報器	0	0	22	70,044	80.2	80.2
	イオン化式住宅用防災警報器	0	0	0	0	-	-
	光電式住宅用防災警報器	2	0	43	505,345	124.2	124.2
合計		3	1	676	2,024,539	92.6	92.6

※前年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

## 性能評価申請一覧表

特殊消防用設備等性能評価業務	性能評価申請件数	性能評価変更申請件数
特殊消防用設備等の性能に関する評価	0	0

## 受託評価等依頼一覧表

品質評価業務	型式評価依頼件数	型式変更評価依頼件数	更新等依頼件数	型式適合評価				
				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
補助警報装置及び中継装置	0	0	0	0	0	-	-	
音響装置	0	0	0	0	0	-	-	
予備電源	0	0	0	3	16,600	132.8	132.8	
外部試験器	0	0	3	4	130	130.0	130.0	
放火監視機器	放火監視センサー	0	0	0	0	皆減	皆減	
	受信装置等	0	0	0	0	-	-	
光警報装置		0	0	1	400	50.0	50.0	
	光警報制御装置	0	0	0	0	皆減	皆減	
屋外警報装置		0	0	0	0	-	-	
	屋外警報装置に接続する中継装置	0	0	0	0	-	-	
消火器加圧用ガス容器	0	0	0	1	60,000	4,000.0	4,000.0	
蓄圧式消火器用指示圧力計	0	0	0	5	445,000	111.2	111.2	
消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁	0	0	0	4	3,600	112.5	112.5	
消火設備用消火薬剤	0	0	0	6	59,184	78.8	78.8	
住宅用スプリンクラー設備		0	0	0	0	-	-	
	構成部品	0	0	0	0	-	-	
動力消防ポンプ	消防ポンプ自動車	0	0	26	35	55.6	55.6	
	可搬消防ポンプ	0	0	3	309	103.7	103.7	
消防用吸管	呼称65を超えるもの	0	0	4	650	100.0	100.0	
	呼称65以下のもの	0	0	3	270	385.7	385.7	
消防用ホース	平 40を超えるもの	5	0	13	7	15,680	86.0	86.0
	平 40以下のもの	1	0	6	7	20,015	76.8	76.8
	濡れ	0	0	0	0	-	-	
	保形	0	0	0	2	2,500	34.2	34.2
消防用結合金具	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	-	-	
	差込式	1	0	6	24	79,828	86.3	86.3
	ねじ式	0	0	0	18	6,424	49.3	49.3
	同一形状	0	0	0	1	344	172.0	358.9
漏電火災警報器	変流器	0	0	9	2,715	73.1	73.1	
	受信機	0	0	1	6	1,730	77.3	77.3
エアゾール式簡易消火具	0	0	0	1	37,980	90.5	90.5	
特殊消防ポンプ自動車	0	0	0	9	9	47.4	47.4	
特殊消防自動車				1	3	37.5	37.5	
可搬消防ポンプ積載車	0	0	0	1	1	皆増	皆増	
ホースレイヤー	0	0	0	4	10	333.3	333.3	
消防用積載けしご	0	0	0	8	105	123.5	123.5	
消防用接続器具	0	0	1	7	1,405	38.4	38.4	
品質評価業務				確認評価				
外部試験器の校正				8	47	261.1	261.1	
オーバーホール等整備				1	1	25.0	25.0	

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。  
 ※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。  
 ※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

# 受託評価等依頼一覧表

認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価				
					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
地区音響装置		0	0	0	18	29,785	107.7	107.7	
非常警報設備	非常ベル及び自動式サイレン	0	0	5	38	6,949	134.1	134.1	
	放送設備	0	0	7	60	49,826	90.4	90.4	
パッケージ型自動消火設備		0	0	0	0	0	-	-	
構成部品		0	0	0	0	0	-	-	
総合操作盤		0	0	0	0	0	-	-	
屋内消火栓等	易操作性1号消火栓	0	0	0	10	2,040	92.4	92.4	
	2号消火栓	0	0	2	8	740	86.0	86.0	
	広範囲型2号消火栓	0	0	0	7	820	130.2	130.2	
	補助散水栓	0	0	0	0	0	-	-	
ノズル		0	0	0	18	5,805	70.8	70.8	
認定評価業務		装着番号付与 確認評価 依頼件数		更新等 依頼件数	製品確認評価				
屋内消火栓等		消防用ホースと結合金具の装着部	0	0	11	22,180	25.0	25.0	
認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価				
特定駐車場用泡消火設備		0	0	0	9	9,800	115.3	115.3	
認定評価業務		総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備(評価)		0							
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備・構成装置		0	0	0	12	12	171.4	171.4	
特定機器評価業務		総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
特定消防機器等		0	2	0	2	11	19,113	76.4	76.4
受託試験及びその他の評価		依頼件数				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
受託試験(契約等)		0							
受託試験(その他の契約等)						1	1	33.3	33.3
評価依頼(基準の特例等)		0							

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

新年度が始まってからひと月が経とうとしています。新しい環境には慣れましたでしょうか。

季節も変化しています。4月中旬は多くの地点で気温が上がり、25℃を超える夏日となったところもありました。最高気温の別に25℃以上は夏日、30℃以上は真夏日、35℃以上は猛暑日といいますが、今年、気象庁は最高気温が40℃以上の日を酷暑日とすることを発表しました。最近の暑さはより酷いということでしょう。熱中症への対策は必要というか不可欠になってきたなと感じます。ファン付き作業服といった対策品も一般的になっており、いろいろな熱中症対策商品も充実しています。しかし、基本は水分やミネラルの補給と適度な休憩です

ので、屋外に限らず屋内であっても現場にあった対策を講じたいところです。

また、毎年4月は科学技術週間に合わせて消防庁消防大学校、消防研究センター、一般財団法人消防防災科学センターと合同で施設の一般公開を開催しています。今年は4月17日（金）に開催しました。来場者も589名の方に足をお運びいただきました。本当にありがとうございました。

さて、今月号では、東京消防庁総監の市川博三様には巻頭のことばをご寄稿いただきました。誠にありがとうございます。

6月号では、静岡市消防局長の成沢央久様に巻頭のことばをいただく予定です。

### 検定協会からのお願い

検定協会では、消防用機械器具等について検定及び受託評価を行い、性能の確保に努めているところですが、さらに検定及び受託評価方法を改善するため、次の情報を収集しています。心あたりがございましたら、ご一報下さいますようお願いいたします。

(1) 消防用機械器具等の不動作、破損等、性能上のトラブル例

(2) 消防用機械器具等の使用例（成功例又は失敗例）

連絡先 東京都調布市深大寺東町4-35-16  
日本消防検定協会 企画研究課  
電話 0422-44-8471（直通）  
E-mail kikaku@jfeii.or.jp

発行 日本消防検定協会

<https://www.jfeii.or.jp>



本 所 〒182-0012 東京都調布市深大寺東町4-35-16  
TEL 0422-44-7471(代) FAX 0422-47-3991



大 阪 支 所 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-7 清和梅田ビル4階  
TEL 06-6363-7471(代) FAX 06-6363-7475



虎ノ門事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館11階  
TEL 03-5962-8901(代) FAX 03-5962-8905

当該刊行物にご意見・ご要望・ご投稿がありましたら、本所の企画研究部情報管理課検定協会だより事務局までお問い合わせください。  
e-mail : kikaku@jfeii.or.jp 専用 FAX 0422-44-8415

